

NITS オンライン動画視聴後の「振り返りシート」 <校内研修シリーズ>

【No125:学級・学年・学校支援につながる スクリーニング(実践編)】

Step.1:スライドなどで以下の様な問題を提示し、基礎的な知識の確認を行う。(3問程度)

- (1) スクリーニングは年間を通して行われていますが、主なスクリーニングはどのような順番で行われているのでしょうか。次の□内のそれぞれの()に、1～3の数字を書き入れましょう。

| |
|--------------------|
| () スクリーニング会議 |
| () スクリーニングシートチェック |
| () チーム会議 |

- (2) スクリーニング会議の概要について、動画では次の□のように説明しています。文章中の()に適切な語句を書き入れましょう。

| |
|--|
| スクリーニング会議では、スクリーニングシートを基に「学年」または「隣学年」「低中高」等のグループで合計点数が6点以上の児童と、それに満たなくても重点事項にチェックがついている児童を話題に上げ、「教員のワンポイント対応」や「()会議にあげる児童」について話し合います。 |
|--|

- (3) 次の□は、動画で説明していたスクリーニングの成果を、端的に文章にまとめたものです。それぞれの()に当てはまる語句を書きましょう。

| |
|-------------------------|
| スクリーニングを実施した成果として、 |
| ・見えていなかった児童生徒の把握と() |
| ・他機関との() |
| ・家庭への支援や()紹介) があげられます。 |

Step.2:以下の様な問題を提示し、回答内容についてグループで検討を行ったり、実際の指導例を持ち寄り、再検討したりする。(1問程度)

私達の学校の児童生徒の中には、児童生徒に支援が必要な場合と、家庭に支援が必要な場合があります。そして、学校生活では目立たない児童生徒の中にも、実は支援が必要な児童生徒が存在していることもあります。スクリーニングシートをチェックする前に、あなたの学級や学年に「シートの点数が6点以上の児童生徒は何人いるか」を予測してから、スクリーニングシートでチェックをしてみましょう。